



十中生の学力・学習状況について

今年4月に、全国の小6年、中3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査の目的は

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため
- ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため
- ③児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用するため、となっています。調査の内容は、「国語A」・「数学A」（主として知識に関する問題）、「国語B」・「数学B」（主として活用に関する問題）、理科、生徒の学習状況等に関する質問です。

なお、この調査で測定できる「学力」とは、学力全体の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを付け加えておきます。

十中では調査の目的をうけ、教科（国語・数学・理科）や校務部（学習指導・生徒指導・健康安全指導）で、結果についての分析し、そこから見えてきた成果と課題、これから課題解決に向けて取り組むことを職員会議で検討しました。

:

*** 中略（教科の具体的数値は、紙面にて保護者に配付しております。）**

:

本校生徒の良さとして、特徴的な点は、

- 自己肯定感（自尊感情）が高い
- 思いやりの心が育まれている
- 将来の夢や目標を持っている
- 基本的な生活習慣が定着している

ことなどがあげられます。

一方で、改善すべき点として、

- 地域の行事に参加している生徒の割合が低い

ことなどが挙げられます。

地域とのつながりを強化していく必要があると感じています。

これらの結果を受けて学校では、自分の考えを伝え、人とかかわっていくことの大切さを理解できるようにするため、学校全体でソーシャルスキルトレーニングを実施したいと考えています。今後も十中生の良さを十分に伸ばし、課題を改善する教育活動を実践していきたいと思えます。